

県外派遣報告書

審判員名	若林 哲		所属	中体連
大会名	第44回関東中学校バスケットボール大会			
期間	平成26年8月8日(金)～10日(日)			
会場	大田区総合体育館、大森スポーツセンター			
スケジュール				
期 日	内 容		場 所	
8月8日(金)	審判会議 1回戦		大田区総合体育館、大森スポーツセンター	
8月9日(土)	2, 3回戦		大田区総合体育館、大森スポーツセンター	
8月10日(日)	準決勝、決勝		大田区総合体育館	
会議 講義 内容				
<p>審判会議において今回指名で派遣された星野氏、大庭氏よりレクチャーが行われた。星野氏からは「ステップアップを経て考えること」というテーマで、変わるもの、変えるもの、変わらないもの、自分の「信念」の重要性をレクチャーして頂いた。大庭氏からは「ランクアップのために」ということで、ランクアップ＝ライセンスアップではないということや、ランクアップに必要なこと、最終的には「絶対になる」という意思が不可欠であるという話があった。</p> <p>最終日には安西審判長のレクチャーが行われた。「より良い判定のために・その2」というテーマで主にリード・トレイルの任務や二人の協力、プレカンファレンス(事前準備)の重要性についてのお話を頂いた。</p>				
実技				
担当試合	期 日	8月8日(金)	男子	1回戦
	対戦カード	雀宮 VS 深川一	副審	
	相手審判	林原 潤氏(千葉県)		
ミーティング内容		主任 梶 崇司氏(栃木県)		
<p>もっと自分の責任エリアをしっかりと吹くこと。相手のエリアを吹くということは、それだけ間違いが多くなるし、よほどの確信がない限り吹くべきではない。リードで受ける時、リバウンドプレイなどに関しては一歩ずれたり、下がったりという工夫が必要。ファウルを取り上げる際は、ファウルを犯した本人やチームにも知らしめるために少し「間」を持ってからファウルコールをすると良い。</p>				
担当試合	期 日	8月9日(土)	女子	準々決勝
	対戦カード	石神井西 VS 桐生川内	副審	
	相手審判	長谷川 裕氏(神奈川県)		
ミーティング内容		主任 丸山 淳氏(山梨県)		
<p>全体を良く見ており、延長戦になるような緊迫したゲームだったが、落ち着いて見る事ができた。その中で、「ここで何かがありそうだ」「ここを見ていますよ」ということが周りに伝わるような見方が必要。そのような見方をすることで、説得力や信頼感が大きく変わってくる。リードの位置取りに関して、右へ移動した後、何もなければ戻るべき。</p>				
全体の感想				
<p>「選手にバスケットボールをさせる」ことの重要性を強く感じた大会でした。ゲームを始め、進めて、無事に終わらせることが審判の任務ですが、その中でチープな笛を吹かないことや、本当に選手が困ったときに助けてあげる、というプレイの吟味が必要だと感じました。また大庭氏の「ランクアップのために」というレクチャーは今の自分自身にとって、とてもタイムリーな内容でした。今回も全国大会決めに任されましたが、任される割当が変化していく中で、「絶対になる」という意思が大切だと痛感しました。最終日の割当を頂けなかった悔しさを今後の糧にしていきたいと思えます。</p> <p>今回の関東大会において東京都協会の方々には大変お世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。また派遣して頂いた埼玉県協会のためにも、ランクアップ、ステップアップを目指して日々精進していきたいと思えます。ありがとうございました。</p>				